榛名神社社報

発行日　平成十七年七月十五日
発行所　沼田市榛名町二六五一
電話〇二七八(22)二六五五
http://harunamonori.com/
発行人　金子由紀子

榛名神社由緒記

御祭神

埴山姫命（はにやまひめのみこと）（生命守護・五穀豊穣の神）

倭建命（やまとたけるのみこと）（開運・土地守護の神）

菅原道真命（すがわらのみちざねのみこと）（学問守護・災難厄除の神）

建御名方命（たけみなかたのみこと）（産業守護・健康長寿の神）

摂社・末社

大国主命（おおくにぬしのみこと）（商売繁盛・良縁結び・病気平癒・交通安全の神）

琴平宮・熊野社・稲荷社・産泰社・五柱社

厳島社・加茂社　**めめよし様**

元禄社・利根沼田総鎮守
沼田氏、真田氏、本多氏、黒田氏、土岐氏と代々の城主の崇敬を受け、その由緒の品々が今も保存されている。特に本殿は享禄二年（1529）沼田顕泰の建立、元和元年（1630）真田信之により改築され、豪壮華麗な桃山文化を今に伝える。

宮司の社頭所感

榛名神社は古くから大利根の人々の心の拠り所として祀られ親しまれてきました。

ことあるごとに、人々は集い、語り合い、神様に報告をしたり、お願いをしたり、そして御礼をしたり・・・・・。

昔から、神社は人の集う場所でありました。話し合いの場でもありました。その時代時代の人々の心が神様に伝えられ、神様は人々をお守りくださる。その繰り返しで今の私たちの平和な世の中があるのです。

うれしい時、楽しい時、苦しい時、悲しい時、どんな時でも、榛名さまは氏子のみなさまをお守りしてくださいます。遠慮せずに神社へ出かけて下さい。そして鳥のさえずり、木々をわたる風の音、木や草花の香る神苑で、癒しのひと時を過ごしながら、同じ場所に立っていた古の人々の思いを感じてみて下さい。

神は人の敬により威を増し
人は神の徳によりて運を添う

拝殿改修工事竣工報告

大正七年建築の拝殿床下が老朽化。白蟻と腐気により床及び床下が傷んだこと等により、緊急の改修が必要となり、会議を重ね、昨年九月、神社本庁の承認を得て、改修補強工事を行い、十一月竣功いたしました。

尚、神社の関係工事は基本的に費用の二分の一以上、氏子からの寄付を募って行うという神社本庁からの指導がありますが、今回の改修工事は緊急を要した為、積立金を使って工事を致しましたことを報告します。

所要経費　四百七万四千円
施工者　山一工業株式会社

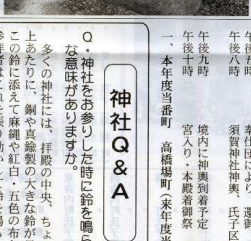
《境内散歩》『庚申塔』

人間の頭と腹と足には三尸の虫がいて、その人が悪いことをしていると、いかいつも監視をしているといいます。三尸の虫は庚申の日の夜、その人が寝ている間に天の神様に日頃の行いを報告し、その罪の程度によって寿命が決まると言われていました。眠ってしまうとその間に告げ口されるので、庚申の日には一晩中眠らずにすごさなければならなかったのです。

これは中国の道教の思想に発しているとも言われます。夜を徹する「庚申待ち」は江戸時代には全国的に庶民の間に広まっていたといいます。庚申塔にお参りし、当番の家に集まり、それぞれ座について、緒にご馳走をいただいたりして談笑しながら夜を過ごしたのです。

また、その夜には謹んで徹宵しなければならなかったので、夫婦の中は遠慮しなければならなかったようでこんな江戸の川柳も残っているようです。

「庚申はせぜるをいれて四猿なり」
「庚申をうるさく思う新世帯」



神社Q&A

Q・神社をお参りした時に鈴を鳴らすのはどんな意味がありますか。

多くの神社には、拝殿の中央、ちょうど賽銭箱の真上あたりに、鈴や真鍮製の大きな鈴が吊られております。この鈴に添えて麻縄や紅白・五色の布などを垂らしてお拝者はこれを振り動かして鈴を鳴らし、お参りをします。社頭に設けられた鈴は、その清々しい音色で参拝者を敬虔な気持ちに引き込むと共に祓い清め、神霊の発動を所願するものと考えられています。

また、巫女が神楽舞を舞う際に用いる神楽鈴も社頭鈴と同様の意味によるものです。古くは鈴が神楽を舞うことにより神懸かりして人々に神の意志を伝えており、このために人間にとっては必要なものです。

今日では、巫女による神楽舞が優雅な形に定められ、神懸かりというより神慰めとして行われる鈴振り行事は祓い清めの意味を有するものということができます。

鈴の振り方などの授与品に鈴が用いられているのは魔除けや厄除け・開運のためともいわれています。

◇祇園祭執行について◇

左記の通り、祇園祭についての日程等をご案内申し上げます。

一、日　程

八月三日(水)
午前前半時二十分　神輩奉遷・神輿発幸祭
午前八時　榛名神社→清水町→東倉内町→新町→西倉内町→氏子区域
〃十時二十分頃　榛名神社→蓮町→氏子区域
正午頃～　東倉内町→西倉内町→材木町→東原→西原新町→氏子区域
午後一時頃　文化会館にて昼食・休憩　文化会館
上原町→桜町→高橋場町→柳町　柳町

午後三時　柳町祭典事務所着　柳町祭典事務所
午後三時三十分　奉仕団により渡御　柳町を出発　氏子区域
午後三時三十分　仮宮着御祭　仮宮　仮宮
八月四日(金)
午後五時　恒例大祭　仮宮
八月五日(土)
午後四時三十分　参集　奉仕団により御神輿の準備　仮宮
午後四時　還幸祭　仮宮
午後八時　奉仕団により、還御
須賀神社神輿、氏子区域山車との競演
市役所前広場
午後八時　境内に神輿到着予定　榛名神社
午後十時　宮入り・本殿着御祭　榛名神社

一、本年度当番町　高橋場町（来年度当番町　薄根町）

朝のお参りのときなど、一歩殿内に入ると、神様のお守りと清々しくなる香に、心感と幸福感に包まれます。自然がもつ癒の力を、日々感じてみなさまも、どうぞお気軽にお出かけ下さい。

【改修なった拝殿】